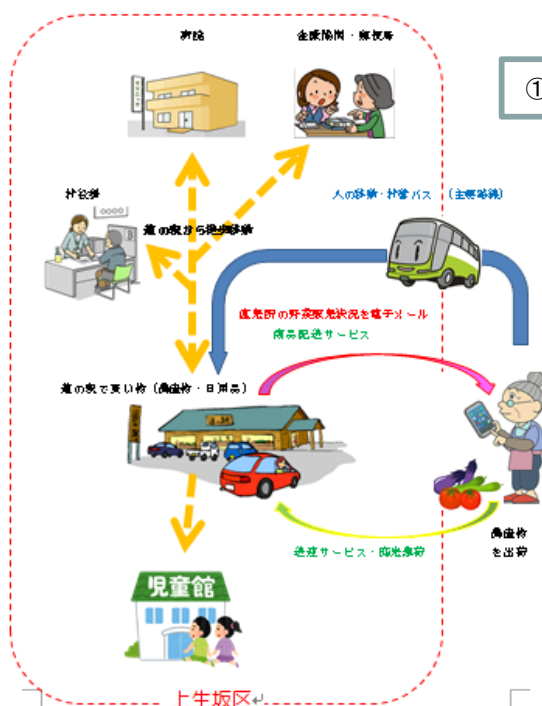


- ①道の駅を拠点に交通ネットワークを充実させ、生活サービスの利便性を図る
- ②「道の駅いくさかの郷」を駐日ハンガリー大使館認定施設として登録し、次世代観光拠点の形成
- ③地元住民との連携による地域資源の活用
- ④子育て支援センターや児童館・教育委員会と連携した子育て応援

①生坂村「道の駅」を利用した小さな拠点のイメージ。



①地域活性化の拠点

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
いくさかの郷	長野県	生坂村	県道275号	新設	平成31年度	一体型



③地元との連携



②次世代観光拠点



④子育て支援教室

<提案の先駆性・ポイント>

- ①地域活性化の拠点として「道の駅」を位置づけ、施設を中心として既存施設の有効活用を図り、地域の活性化を図る。
- ②総合案内所において村内や周辺市町村の観光案内の実施と交流を目的とした外国人観光客の誘致。
- ③地元と協力して地域の魅力を引き出す。
- ④妊婦向け優先駐車スペースの設置と24時間利用可能なおむつ交換スペースの設置など、道の駅を活用した子育て支援。

<実施内容>

- ①小さな村だからこそできる対策。村の中央部に施設を集中的に設置し、産業対策、福祉対策、教育対策、災害対応等多くの課題に対応する。
- ②特定の外国人を迎えることで、村民にも親しみをもって接してもらえる。
- ③地元と連携して、施設と地元資源のお互いの魅力を引き出す。
- ④子育て支援の窓口として、利用しやすい施設を目指し、子供の職場体験等を通じて、施設を使用し子育て支援を図る。また、近隣の保育園の散歩コースに農産物直売所を取り入れ、地元の果物等を保育園のおやつに活用しながら、見て味わう体験を実施する。